

■三好達治 詩人。第一詩集「測量船」以降、意欲作続けて昭和詩壇を代表し、師の萩原朔太郎の評論に生涯を賭けた。

みよしたつじ

ビア/国産化・1900＝ 大阪市西区生れ。印刷業を営む家の長男。

日露戦争終・1905＝ 5歳：

満鉄発足・1906＝ 6歳：家が貧しく、養子で籍を移すこともできないため、祖父母のもとにひきとられる。

韓国反日暴動1907＝ 7歳：尋常小学校に入学。

アヲヲ創刊・1908＝ 8歳：神経衰弱となり、休学。

伊藤博文暗殺1909＝ 9歳：

大逆事件判決1911＝11歳：実家に戻り、5年に編入。\_この頃から文学に親しむ。

明治天皇没・1912＝12歳：

大正政変・1913＝13歳：卒業して、家業を手伝う。

第一次大戦始1914＝14歳：府立中学校に入学。\_[ホトトギス]を購読、以後句作に励む。

21ヶ条要求・1915＝15歳：学資が続かず、中退して、大阪陸軍地方幼年学校に難関を突破して入学。

本格政党内閣1918＝18歳：卒業して、東京陸軍中央幼年学校本科に進学。秩父宮と机を並べてフランス語を学ぶ。

ベルサイユ条約・1919＝19歳：修了して、北朝鮮に赴任し、士官候補生の軍隊生活。

大暴落・1920＝20歳：陸軍士官学校に入学。「資本論」や「聖書」をかくれて読む。

原敬首相暗殺1921＝21歳：中退して、帰郷。家業の再建をはかるが、父と衝突。結局、破産し、父は家出。

水平社結成・1922＝22歳：叔母の家からの援助で\_第三高等学校文科丙類に入学。同級丸山薫の刺激で詩作を始める。桑原武夫、梶井基次郎、河盛好蔵、吉川幸次郎らと合い識る。室生犀星、萩原朔太郎の強い影響を受け、また堀口大学の訳詩集「月下の一群」から多くの方法的示唆を受けた。特に萩原からは深い影響を受け、生涯師として尊敬。

治安維持法・1925＝25歳：\_卒業して、東京帝国大学仏文科に入学。小林秀雄、中島健蔵、今日出海、淀野隆三、堀辰雄らと交友。

日本時代始・1926＝26歳：\*梶井らの「青空」に参加。「乳母車」「整のうへ」などを発表し、注目される。

金融恐慌・1927＝27歳：\_百田宗治の「椎の木」などに参加。梶井を見舞った際、萩原朔太郎に初めて会う。神経衰弱になる。

共産党事件・1928＝28歳：\_卒業。就職したアルス社が倒産したため、文筆生活に入り、生活の資を得るため翻訳に励む。「詩と詩論」創刊同人となったがやがて離脱、北川らの「詩・現実」に参加した。

世界恐慌・1929＝29歳：\_ボードレールの訳詩集「巴里の憂鬱」に続いて、

海軍軍縮条約1930＝30歳：\*第一詩集「測量船」で確固たる地位を築き、

満州事変・1931＝31歳：

五一五事件・1932＝32歳：\_咯血して入院、その間に梶井が死去。フランシス・ジャムにならって、日本で初めて四行詩を用いた「南窗集」を刊行して注目される。

帝人疑獄事件1934＝34歳：\_佐藤春夫の姪と結婚。父が死去。長男誕生。\_処女歌集「日まわり」。堀辰雄、丸山薫と共同編集で「四季」を創刊、同誌が抒情詩の主流をなす上で中心的な存在となる。朔太郎と論争。詩集「閑花集」や、

芥川直木賞始1935＝35歳：\_「山果集」では四行詩に俳句的手法を加味して作る。フィリップ「母への手紙」。

二二六事件・1936＝36歳：\_初めて一家を構える。\_ジャム詩集「夜の歌」。詩・評論を多く発表、朔太郎より功勞者と賞される。

日中戦争始・1937＝37歳：\_長女誕生。\_アナトール・フランス「少年少女」。雑誌の特派員として上海へ行く。

健保+総動員 1938＝38歳：\_随筆評論集「夜沈々」。

第二次大戦始1939＝39歳：\_合本詩集「春の岬」、長詩集「艸千里」、

大政翼賛会・1940＝40歳：\_詩歌懇話会賞。

日米開戦・1941＝41歳：\_家が水害に会う。\_随筆評論集「風粛々」、賞賛された詩集「一点鐘」などで詠嘆的文語調が強まる。

..... 1942＝42歳：\*自選詩集「羈旅十歳」。朔太郎が死去、「師よ 萩原朔太郎」は代表作の一つ。古今の詩歌俳諧を解説した詩論集「詠詠十二月」はベストセラーになった。詩集「捷報いたる」や、

創価学会検挙1943＝43歳：\_「寒柝」などの激越悲愴な戦争詩を書く。随筆評論集「屋上の鶏」、自選詩集「朝菜集」。

年金+総武装 1944＝44歳：\_離婚して、萩原アイと再婚。\_哀切な恋愛を背景にした「花筐」をも書いた。合本詩集「一点鐘」、手刷りの私家版詩集「春の旅人」、肉筆特製詩集「春愁三章」。戦争の逼迫と生活の波瀾から、この頃の詩は類のない蕭条たる響きを残している。

敗戦..... 1945＝45歳：\_アイと離別。詩集「干戈永言」。

新憲法公布・1946＝46歳：\_天皇の退位を要求する論文を発表。詩集「故郷の花」、「砂の砦」で、詩風に変貌を見せ注目される。

新憲法施行・1947＝47歳：\_自選詩集「日光月光集」、随筆集「燈下言」。

朝鮮戦争始・1950＝50歳：\_合本詩集「朝の旅人」。

独立回復・1951＝51歳：\_「三好達治詩集」が刊行される。

メデー事件・1952＝52歳：\_詩集「駱駝の瘤にまたがって」、評論集「卓上の花」、「詩を読む人のために」。吉川幸次郎との共著「新唐詩選」がベストセラーになる。

TV放送始・1953＝53歳：\_芸術院賞。自選詩集「午後の夢」。親友堀辰雄が死去。

自衛隊発足・1954＝54歳：

国連加盟・1956＝56歳：\_母が死去。

インスタマン・1958＝58歳：\_随筆集「路傍の秋」。

美智子妃・1959＝59歳：\_編集に心血を注いだ「萩原朔太郎全集」の刊行開始。

安保闘争・1960＝60歳：

全国総合計画1962＝62歳：\_「三好達治全詩集」が刊行される。\_[百たびののち]など晩年の古典的風格と完成度を示す詩境に達し、

TV宇宙中継始1963＝63歳：\_随筆評論集「草上記」。\_読売文学賞。評論「萩原朔太郎」は生涯にわたり注いだ情熱を伝える傑作。

東京リビウ 1964＝64歳：\_狭心症を起して\_没した。